

アガペ

日本社会事業大学同窓会北海道支部【(2016年2月1日発行 第14号)】

(事務局・仁木町大江2-457大江学園内 0135-32-3662)

【社会福祉随想リレー】

社会福祉法人厚生協会の職員採用の取組と課題 その2

社会福祉法人厚生会 儀藤 敦 (学部25期)

前回は、当厚生協会の最近の新規職員採用にあたっての特徴として、

- ・ 今年度9名の大卒等(短大・専門学校を含む)の新卒者を採用できたこと、
- ・ この5年間で採用した大卒等の新卒者31名中、離職者がゼロであること、

この2点を報告させていただきました。

今回は、当厚生協会の職員採用方針や取り組みの概要について報告させていただきます。

1. 当厚生協会の職員採用状況

当厚生協会では、介護職の欠員補充を中心に法人全体で例年5～8名程度の大学新卒者を採用してきました(詳しくはアガペ第12号をご覧ください)。

(1) 職員採用方針について

① 困難な介護有資格者の採用

主に介護職の採用ですので、以前より介護福祉士有資格者を中心に採用してきました。2005年度から2014年度までの10年間で採用した新卒者63名のうち有資格者が34名(54%)を占めており、更に2010年度までの6年間に限ると凡そ7割が介護系の学卒者です。

それ以前はもっと有資格者の割合が高かったと思われますし、2000年に開設した身体障害者療護施設の介護職採用では臨時職員(1年後に正職員)募集にも拘わらず、有資格者を含め多数の応募があり、しっかりと選考(採用枠の関係で惜しくも採用できなかった人が数名)が出来た時代でもありました。

その後、介護職採用にあたって、受難の時代を迎えることとなります。

その要因は、第一に、介護保険制度の導入等により介護職の需要が拡大しているにも拘わらず、民間事業所の不祥事等によるイメージダウン(3K・低賃金・

高い離職率)や少子化等により供給量が不足しており、更にこの傾向が拡大している点にあると考えています。

もう一つの地方(言い換えれば田舎)の法人にとっての問題としては、労働市場の大都市一極集中化の問題です。介護を学ぶ学生にとっても、地元での働き口はたくさんあり、道都札幌(十勝では帯広市)でも介護職の働き口を探すことは容易です。

このような状況の中で私が採用活動に関わるようになりました。求人票をハローワークや各校に郵送するという従来の遣り方だけではなく、札幌・旭川方面を中心に各校の就職担当者を直接訪問したり、各種企業説明会に積極的に参加するようにしました。しかし各種企業説明会に参加しても来訪者は少なく、特に帯広市内での説明会では「来訪者なし」ということが続きました。むしろ札幌市内で開催される一般企業を対象にした合同企業説明会で数は少ないものの、様々な学部的大学生が来訪してくれるようになりました。

そこで、学校訪問も当初は介護系の専門学校や短大を中心に廻っていましたが、徐々に大学を廻る機会を増やし、現在では社会福祉系のない大学にまで対象を広げています。

介護職の採用を社会福祉系以外の一般学生まで広げることに對しては、内部でも「専門知識や技術がなく養成に時間がかかる」、「すぐ辞める」、「人件費が上がる」等々の異論がありました。

有資格者の確保が容易であれば、それに越したことはありません。しかし、田舎の法人ではそうはいかない現実があります。

② 大卒者採用のメリット・デメリット

企業説明会等で一般企業への就職活動が上手いかず、「介護職でも」という軽い気持ちで来訪する学生が多いのも事実です。

私は来訪者に対し、法人の採用条件からではなく、「介護職の魅力ややりがい」から話をし、次いで民間事業所と社会福祉法人の違いについて説明をしています。

2014年度中に参加あるいは法人で主催したイベントは合計40回にのぼっています。

その内訳は以下の通りです。

- ・ 公的機関主催の説明会等に7回(札幌市5回、帯広市2回)
- ・ 民間企業主催の合同企業説明会1回(札幌市)
- ・ 学校を特定した法人主催の施設見学会3回(2校)
- ・ 学校主催の合同企業説明会8回(8校)
- ・ 大学等での単独企業説明会21回(9校)

この中で、私が一番重要視しているのは、大学等での単独企業説明会です。1回の参加者が少数(殆どが1~3名程度)であるが故に、1コマ(90分)をフルに使い、「介護職の魅力ややりがい」を伝えることが出来るからであり、例年採用者の過半数はこの単独企業説明会がきっかけになっています。他のイベント

では時間的制約（30分～50分）が生じます。この制約の中で如何にアピールするか、伝え手の経験やセンスが求められるのを痛感してきました。

私は大学生に対し、4年間で培ってきた視野の広さや価値観の多様性といった専門学校や短大とは異なる視点で、対人サービスに関われることを具体的に伝えています。そしてここが、大卒者採用の最大のメリットであり、先に触れたデメリットに優るものだと思っています。

資格や介護技術、対象者となる高齢者や障害のある方との接点が無くとも、対象者への思いを寄せることは誰でも可能であり、人のために自分の力を発揮できる介護の仕事はクリエイティブな仕事であることを伝えています。

各種イベントを通じ、年間で150名前後の来訪者等に対し、このような説明をしています。体験的には、5名に1人位の割合で共感を得てくれ、更にその内の半数が採用試験を受けてくれているように感じています。

もう一つ、先の東北での大震災によりボランティア活動やその延長先として社会福祉や介護に興味や関心を持つ学生が、学部や専攻を問わず増えて来ていることも影響していると思います。

（2）大卒等の新規採用者の出身地について

直近5年間で採用した31名の出身地の内訳は以下の通りです。

- ・ 大卒者22名（町内0名、十勝管内7名、十勝以外15名）
- ・ 短大等9名（町内2名、十勝管内7名、十勝以外0名）

この数字で明らかのように、短大等の卒業生は、地元を含め管内出身者だけです。大学卒では3割が管内出身で、その多くが札幌の大学に進学してのUターン者であり、残りの7割はそれまで十勝に全く接点のなかった人達です。

地元出身者以外の人達を採用するには、先ず住宅の確保が必要になります。

次号では、住宅の確保を始め、過去5年間の職員採用に向けた具体的取り組みについて報告します。

恒例の新春セミナーを開催

ご承知のとおり、北海道同窓会はここ30年ほどに亘って、新年会（現「新春セミナー」）と秋季セミナーを開催し、同窓会員の交流だけではなく、会員の資質向上にも努めてきています。

さて、2016年新春セミナーは、1月23日（土）に、札幌駅前の大庄水産で行われました。出席者は13人です。

まずは村上会長が新年の挨拶をしました。この中で会長は、昨年の秋季セミナーの成果とアガペの「随想」に触れながら、同窓生の果たす役割がますます重要になっていることを強調しました。その上で、今年実施の北海道フェアと秋の日社大市民公開セミ

ナーに力を注ごうと訴えました。

こののち、2016年定期総会に入り、高田氏を議長に選出後、金子事務局長が、2015年事業報告、2015年会計報告及び監査報告、2015年秋季セミナー会計報告及び監査報告、2016年事業計画、2016年事業予算を一括して報告、提案しました。

この中では特に、6月に社大学内において「北海道フェア」を行うことが確認され、このことについては、村上会長、木村副会長の指示の許、高田広報調査委員長が社大本体及び同窓会事務局と協議して内容を詰め、実施していくこととしました。

なお、議案はすべて、出席者の全員一致で承認されました。

続いて、役員の改選提案があり、満場一致で現役員の再選が確認されました。

また、今年年秋季セミナーは、以下のとおりとなる予定です。

総会後は、木村副会長の音頭で乾杯し、懇親会に入りました。

このたびの新春セミナーには、新しい人（白井さん）、懐かしい人（倉田先生、寺井さん）の参加がありました。お三人からはそれぞれ、自己紹介や近況報告がありました。本来はその後に、出席者の近況報告となるところでした。しかし、その頃にはお隣り同士、お向かい同士で話に花が咲いていたため、これは急遽取り止めとし、成り行きに任せることとしました。

懇談の中では、以下のような意見が出ていました。

- ・ 北海道フェアの中身をしっかりと固めた方が良い
- ・ こうした先進的な行動こそ、北海道らしい取組だ
- ・ 同窓会として、道内の会員に参加をもっと働きかけるべきだ
- ・ 特に、若い人たちとの交流を積極的に図っていった方が良い
- ・ 厳しい社会福祉状況にあることから、情勢に見合った学習を深めていこう
- ・ 社大生としての役割を果たせるような同窓会にしよう

予定は2時間でした。しかし気が付いたときには、既に3時間が経過しており、三上副会長の音頭で乾杯後は、気の合う者同士それぞれで、札幌の夜の街へと消えていったようでした…。

2016年秋季セミナー（日社大市民公開講座）原案

1. 実施日…10月29日（土）～30日（日）
2. セミナー会場…駅前のロイヤルイン
3. セミナー内容…子ども福祉を考えるー子どもの貧困もテーマに入れてー
4. 講師等…①基調講演：本学教授、②パネリスト：市内の子ども福祉関係者及び道同窓会員で計3人程度
5. 懇親会場…山花温泉リフレ（釧路駅から車で30分弱）

なお、上記を受け、今後さらに詳細を現地実行委員会と事務局で詰めていきます。進捗状況は「アガペ」で随時お知らせします。